

建通新聞

令和6年3月6日（水曜日）

足立議員 復旧・復興で

権限代行でも地元業者参画を

能登半島 地震

足立敏之参议院議員は

2月26日、能登半島地震の被災地である石川県輪島市を視察し、今後の復旧・復興に全面的に尽力する考えを示した。

同日はまず同市内の鳳輪建設業協会を訪れ、二俣馨副会長らから発災以降、現在までの状況報告を受けた。県事業の国に

よる権限代行に関して

「何らかの形で地元業者が参画できる工夫が必要。熊本地震などの事例を参考にすべき」と述べた。

輪島市役所では坂口茂市長と懇談し、坂口市長が「地震で幹線道路以外にも寸断しており、復旧や支援活動に支障が出ている。朝市通りの復興には土地区画整理事業も検討する必要がある」などと述べた。足立参院議員は25日に訪れた新潟県糸魚川市の大規模火災復興状況を例に、「糸魚川市の復興が参考になる。さまざまな手法を活用し、朝市通り再生のチャンスにするべきだ」と激励し

た。

その後、大火に見舞われた朝市通り、マリントウンの応急仮設住宅など、門前町では海岸が4メートル隆起した鹿磯漁港の様子を視察した。

27日は石川県珠洲市を訪れ、崩落が著しい大谷トンネルをはじめ、烏川大橋（ループ）、若山町中の隆起箇所、蛸島漁港、見附島などを視察した。（記事・写真〓地方建設専門紙の会・北陸工業新聞社）



石川県輪島市の朝市通り周辺を視察した足立参院議員（右）
2月26日